
乖離

池田 孝則

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

乖離

【コード】

N31160

【作者名】

池田 孝則

【あらすじ】

多くの人が一日の区切りとして考えている物

睡眠

それについてのストーリーです

今日がおわる 今日が始まる

長くなりそう　　がんばろう

追記

途中色々直しつつ書いていきます

文章の枠すら決まっていなかったので探り探りです

題名も変えるかもしれません

何か感じていただいた方はコメントどうぞ

1 話 目

「……!」

ジリリリリリリ……!

携帯電話が鳴っている

おもむろに手を伸ばし、サイドキーを押す

それはとまった

~~~~1分後~~~~

ジリリリリリリ!!!

携帯電話が鳴っている

枕に顔をこすり付け、格闘する

布団も被ってみる

が

大して効果は出ず、しょうがないから携帯の画面を開いてみることにした

スヌーズ?? オン? オフ?

「??????」

とりあえず電源を切ろう

その刹那、不意に聞こえた音があった

「カチッ」

ジリリリリ！……！！

バン！……！！

と手を伸ばしベッドサイドの目覚ましを叩く

そうして始まる私の一日

時計はもう11時を回っていた

おもいきり手を伸ばし、足を伸ばし

「ん……！」

目覚めの声を出す

ベッド横のカーテンを開ける、窓も開ける

ちょうど朝の陽の光は入らない部屋を選んだ自分

逆に西日は入るが

〓〓 11時10分〓〓

(あと30分しかないなあ・・・)

これからが大変だ

決められた時間で用意をしなければいけない  
そこに一切の無駄があつてはいけない

幸いなことに 体調はよかった

トイレから、洗顔、歯ブラシ、髪の手入れ、着替えをしながら朝ごはんの用意

20分前後でここまでする

男でよかった

しみじみ思う

そしておにぎりを食べながら  
また時間を見る

〓〓 11時33分〓〓

「よし行け」

## 2 話目

(今日は遅くてよかったな)

毎回この時間帯の電車に乗るときはそう思う

空いている、とは言えないまでも

適度に空いた座席、どこに座るか迷わなくてもいいこの感じ

午後の授業を受けに行く

それが今日の自分

電車に乗って30分

目的の駅に着く

電車を降りて目に付くもの

人

ひと

ヒト

その群れに飛び込んでいく自分

第2の戦いが始まっている

人通りを縫い、改札を抜ける

通いなれた道を歩き、目的地へついた

キャンパスだ

不意に目が合う人がいた 顔は覚えていた

こんな時、自分の第一声は決まっている

「おはよう!」

笑顔を作り 言う台詞

そしてその後は目を合わさない そうすれば会話は続かない

「おはよー」

・・・

(ほらね)

人の顔と名前を覚えるのが極端に苦手な自分にとって、  
この台詞は非常にかげがえのない物になっていた

背が高いからか  
よく目立つ存在の自分は、話しかけやすい対象として周りに認識さ  
れているらしい  
なのでよく話しかけられるが、それはそれで大変なんです

そして今日も

学生の本分を全うする

### 3 話目

教室へ向かう

すれ違う色々な奴等と会話を交わしながら、といっても挨拶だが、

おはよう、元気？、今日暇？、等々

上げれば切りがない

決して人と話すのが苦手な訳ではないが、今はそつゆつ気分じゃなかった

会話と人込みを流しつつ、歩く

歩く

あるく

(・・・遠いな)

よく思っている。

駅から自宅までの10分と、敷地から目的地までの10分はなんで

こんな違うのか、と

よし ついたぞ

教室に入る

特に席を指定されてるわけではないが、殆どの生徒がほぼ毎回同じ場所に座っている

それでも、満席、というわけではないので、自分はいつも空いている所を見つけて気分で座っていた

ここでの気分、とは、

自分でも不思議だが、閃きに似た様な物を空いてる席から感じるのだ

多分・・・ね

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3116o/>

---

乖離

2010年10月20日15時40分発行